



援助会員さん



#援助会員

#研修あり



#学童クラブ

#アルバイトから正社員



山口恭介さん

恵那市ファミリー・サポート・センター

どんな活動をしていますか？

恵那市ファミリー・サポート・センター（ファミサポ）の援助会員として登録し、ひと月に合計10時間ほど、依頼会員の方からお預かりしたお子さんのお世話をしています。活動は主に恵那市の子育て支援施設「こども元気プラザ」で行っています。

お世話は基本的に1対1で行います。依頼会員から託児や送迎の依頼がセンターに入ると、センターがその時間に対応できる援助会員を探してマッチングします。日によりますが、2時間ほど絵本を読んだり、おもちゃで遊んだりしてお子さんを見守っています。私は2歳くらいのお子さんを見ることが多いですね。

活動を始めたきっかけは？

今は夫婦共働きが当たり前の時代になり、子育てに十分に手が回らない、自分の時間

が取れないといった方が多いと思います。近所の同世代の人たちは、自分の子の手伝いや孫の世話で忙しくしていますが、私の子と孫は遠方に住んでいるので、手伝いができません。

それなら地域の子育て世代の力になりたいと思い、3年ほど前に援助会員になりました。若いころから趣味を楽しんでいたの、今は本当に好きなものだけを残して、そのほかの時間は次世代を支えていきたいという思いで続けています。

援助会員に登録する際、合計24時間の研修を受けました。自分が子育てをした頃とは手法も変わっており、職務経験は事務や経理が中心だったため、活動前にしっかり研修を受けられて安心でした。

活動で大事にしていることは？

一番はこどもの安全です。責任が大きいので、お預かりしている間はずっと緊張がありま

すね。その面では厳しい世界だと思います。

一方、こどもたちの成長を見られるのがとてもうれしいです。利用会員は地域の方ばかりなので、スーパーで声をかけていただくこともあります。社会とつながり、子育て支援を通して時代の変化を知ることができるのもこの活動の魅力だと感じています。

ファミサポでは、こども一人一人の特徴なども事前に教えてくれますし、困ったときは相談に乗ってもらえるので助かっています。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

「いっぱいやってごらん!」とお伝えしたいです。最初はハードルが高く感じるかもしれませんが、研修がしっかりあるので大丈夫。少しの時間からでも、始めていただけたらと思います。

どんな活動をしていますか？

多治見市内にある小学校の学童クラブでスタッフをしています。所属するNPO法人では市内の7つの小学校で学童クラブを受託運営しており、私は現在、その中で一番規模の大きい精華小学校を担当しています。

人数が多く、校内の5つの部屋に分かれていて、各部屋にスタッフがいます。平日の午前中は事務作業、午後は続々とやって来るこどもたちとの時間です。宿題や掃除、自由時間といったスケジュールに沿って過ごし、保護者がお迎えに来るまで、こどもが安心して過ごせるように見守っています。

活動を始めたきっかけは？

ここのスタッフをしていた知り合いの方から、「夏休みにアルバイトをしに来ないか」と誘われたのがきっかけです。

学生時代は映像制作などを学んでいて、こどもと関わる仕

事は全く未知の世界。どちらかといえば苦手な方だと思っていました。

しかし、日々こどもと過ごす中で、小さかった子が身も心も成長していく姿を間近に感じてうれしくなったり、吸収力の高さや自由な発想に驚かされたり。この仕事に魅力を感じ、アルバイトを2年ほど続けた後、2025年4月から正社員として働いています。

こどもとの関わりで意識していることはありますか？

目線を合わせることです。少しでも親しんでもらえるよう、自分も少し童心に返って、一緒に楽しむ気持ちで接するようにしています。こどもたちが折り紙やアイロンビーズで作ったものをくれたり、向こうからいろんな話をしてくれたりするとうれしいですし、親しみやすい存在になれているのかなと思います。

気を付けているのは言葉遣

い。何気ない言葉でこどもを傷つけてしまうこともあるので注意しています。また、誰かを特別扱いせず、全員と平等に接することも大事にしています。今後は障がいなどについても理解を深めていきたいと思っています。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

私もそうでしたが、実際に経験することで得られる発見がたくさんあります。少し苦手意識があっても、やってみると意外とこどもと接するのに向いているかもと気づける方も多いと思います。

新しい世界に飛び込むことは、自分の視野を広げる意味でも大事だったと思うので、ぜひ一歩踏み出してほしいです。

たじっニコクラブ 放課後児童クラブ



この支援に関わりたい！

主な活動場所・問い合わせ 岐阜県内の各ファミリー・サポート・センター
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/5396.html>

支援のカたち

託児・送迎



この支援に関わりたい！

主な活動場所 岐阜県内の各小学校など
問い合わせ 各市町村の放課後児童クラブ担当課
<https://www.pref.gifu.lg.jp/page/6888.html>

支援のカたち

岐阜県内の各小学校の放課後児童クラブでの児童の見守り、生活指導



吉村由美子さん

ほやねカフェ

#寄り添い

#元保育士



#自宅活用

#SNS活用

子育てサロンinオリーブの家



山田茜さん
後藤はつみさん、辻友香さん

どんな活動をしていますか？

土岐市役所1階の多目的スペースで月1回開く「ほやねカフェ」で、お母さんたちからお話を聞いたり、お子さんと遊んだりする「ほやねさん」として活動しています。「ほやね」とは、相づちを打つときに使うこの地方の方言で、話を「ほやね、ほやね」と聞きながら、気持ちにそっと寄り添います。

この活動は、市民と市がまちづくりについて意見を交わす「土岐くらしのラボ」から生まれたプロジェクトの一つ。児童館や他の施設に苦手意識がある人も訪れやすく、気持ちが楽になる場所をつくろうと始まりました。

開催は毎月第4金曜日の午前10時から正午まで。参加者は、同じスペースにある喫茶店「ほしのテラス」の飲み物を飲んでゆっくり過ごすこともできます。

活動を始めたきっかけは？

ほやねカフェがスタートするときに、イメージイラストを描いてほしいと頼まれたことがきっかけです。私は保育の現場に長く携わっており、絵を描くことも好き。そこで、立ち上げに携わっていた保育関係の知り合いから声が掛かったのです。その後、定年退職をきっかけにボランティアとして毎月参加するようになりました。

活動で大事にしていることは？

コンセプトの通り、話を「ただ聞く」ということ。自分の時代から子育てのやり方も考え方も変わっているので、今のお母さんたちの悩みに対して安易に助言することはできません。だからこそ聞くことに重きを置いています。

ただ、これまで保育現場で多くのお母さんのお話を聞いてきた経験から「こんな人もいたよ」と例を出してお伝えることは

あります。「自分だけじゃないんだ」と少しでもホッとしてもらえたらうれしいです。

最初は月1回の開催に物足りなさを感じたこともありましたが、大勢集まる場が苦手と言っていた方が、ここに通い、周囲とも話し始める姿を見て、この月1回が大切なんだと心から思えました。「ここがあって良かった」と思う親子が1組でもいるのなら、続けていく必要があると思っています。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

ちょっと興味を持てることがあったら、一度話を聞きに行ってみるなど、気軽にほんっと一歩踏み入れてみると、意外と好きなことにつながったり、出会いがあったりすると思います。応援しています。

どんな活動をしていますか？

山田さん 月に1回、親子が参加できる交流イベントを開催しています。お菓子作りやリトミック、手遊び、絵本の読み聞かせなど、内容を毎回変えて、親子で楽しめる工夫をしています。遊びを通じて親子同士が打ち解け、一緒に昼食を食べた後、子育ての仕方や悩みを語り合います。

こうして親子同士がつながりを持ち、参加して「楽しかったな」で終わらず、仲間の子育ての工夫をヒントにして、自分の子育てに活かしてほしいです。

活動を始めたきっかけは？

活動を始めたのは2021年。就学前のお子さんを持つお母さんの悩みを聞き、「親自身で解決できる場所をつくりたい」と思ったことがきっかけです。

子育て支援員(うち現役保育士1人)3人で活動し、当初はスーパーや図書館にチラシを配っていましたが、現在はイン

スタグラムなどのSNSを活用して情報発信しています。

一人で来る方や、この場で初めて知り合う方が多く、互いの子育てについて話すことで、新たな発見が生まれる場になっています。親同士のつながりができれば、お子さんが小学生になったときも役立つでしょう。

活動への思いは？

楽しいだけの集まりではなく、参加者同士で話し合うことで、悩んでいるのは自分だけではないことを分かってもらえたらと思います。活動を経て、「ここでみんなと出会えて良かったな」と思ってもらえたらうれしいですね。

一緒に活動しているお二人が感じていることは？

後藤さん コロナ禍で交流の機会が減ったお母さんにとって、ここがあって良かったと思える場でありたいです。じっくり話し合うことができるのがこの集

まりの魅力。話すことが苦手でも、聞いているだけでプラスになることもあります。

何度か参加するうちに、心を開いて話してくれた方もいました。担当しているリトミックで、最初は緊張していた子どもたちが徐々に笑顔になっていくのもうれしいです。

辻さん まずは、私たちが楽しむことを心がけ、得意なお菓子作りで場を盛り上げる工夫をしています。お母さん同士の心の距離がより縮まり、笑顔が増えていくことをうれしく思います。

支援を始めたいと思っている方に一言お願いします。

山田さん お母さんたちから子育てを頑張っている話を聞くと、「私たちスタッフも頑張ろう!」と思えたり、子育て中の仲間同士が繋がり、みんなの笑顔の輪が広がっていく、そんなところにやりがいを感じますね。



この支援に関わりたい！

主な活動場所 土岐市役所多目的スペース

問い合わせ 土岐市役所市民活動課 0572-54-1111 (内線356)

支援のカたち

親子の居場所づくり



この支援に関わりたい！

主な活動場所 山田茜さん宅(住所非公開)

問い合わせ Instagram @kosodate_salon085 DMまで

支援のカたち

親子支援 / リトミックや料理体験などを通じた親子・地域交流